

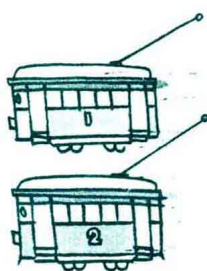
ふたごの でんしゃ

渡辺茂男 作

堀内誠一 絵



日本の創作幼年童話 ⑮
ふたごの でんしゃ



著者 渡辺茂男

発行者 岡本陸人

印刷 株式会社 精興社

写植 五常写植印刷株式会社

製本 土開製本株式会社

発行所 株式会社 あかね書房

東京都千代田区西神田三二二一

電話 東京 二六三一〇六四二(代)

〒一〇一

一九七〇年十二月十日第六刷

定価三八〇円

NDC 913

渡辺茂男

ふたごの でんしゃ

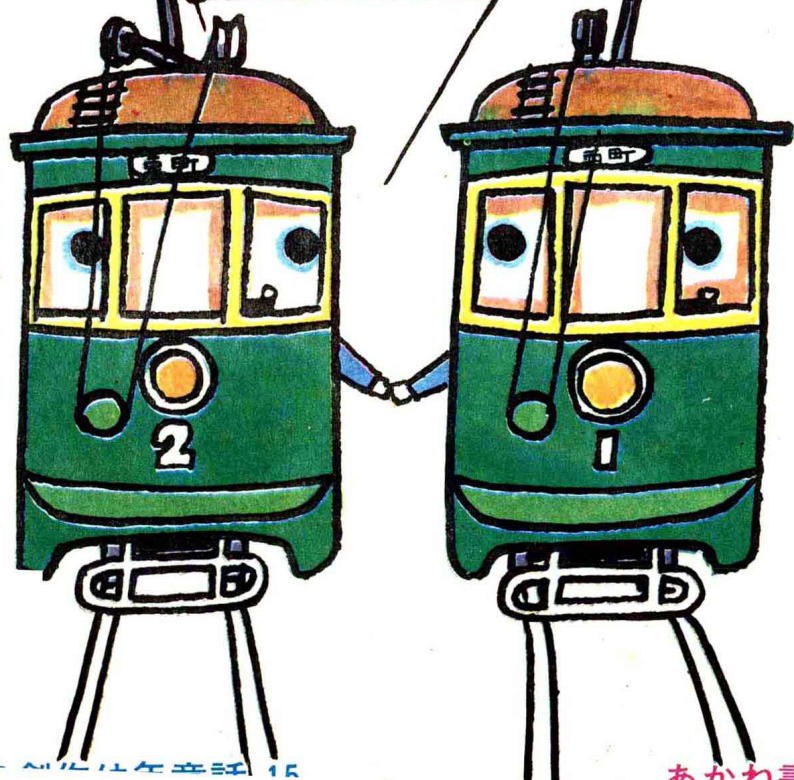
あかね書房1970

93P 22cm (日本の創作幼年
童話15)

ふたごの でんしゃ

渡辺茂男 作

堀内誠一 絵





あるまちの まんなかを、ひがしから
にしへ、たんせんの でんしゃの せんろが
とおっていました。そのせんろの ひがしの
はしと、にしの はしに、しゃこが
ありました。

ひがしのしゃこに、べんけいが

はいっていました。にしのしゃこには、

うしわかが はいっていました。

まいあさ、ひがしのしゃこの べんけいは、

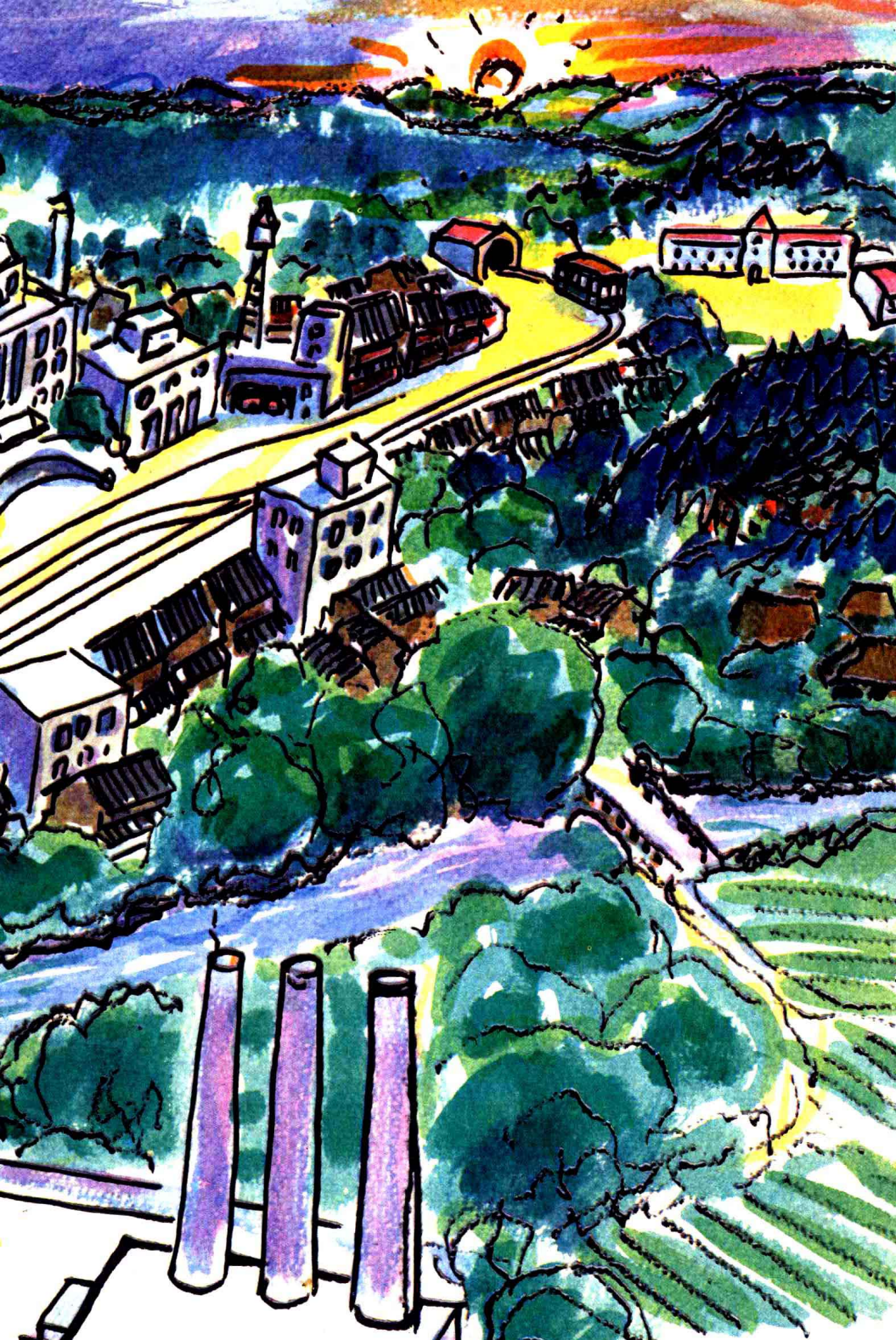
しゃこを だと、おひさまを せに

にしへ むかつて はしりました。

にしのしゃこの うしわかは、おひさまに

かおを むけて ひがしへ むかつて

はしりました。





でんしゃの せんろは、
まちの まんなかに ある
しやくしよの まえだけ
ふくせんに なっていました。







べんけいは、しやくしよまえの

ていりゆうじよに さきに つくと、そこで

はんたいがわから くる うしわかを

ましました。

うしわか、しやくしよまえに さきに

つけば、やつぱり そこで

はんたいがわから くる べんけいを

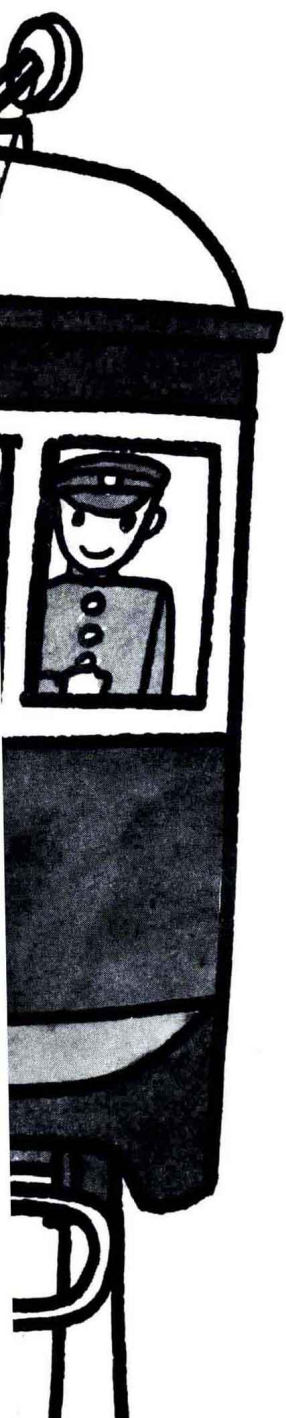
ましました。

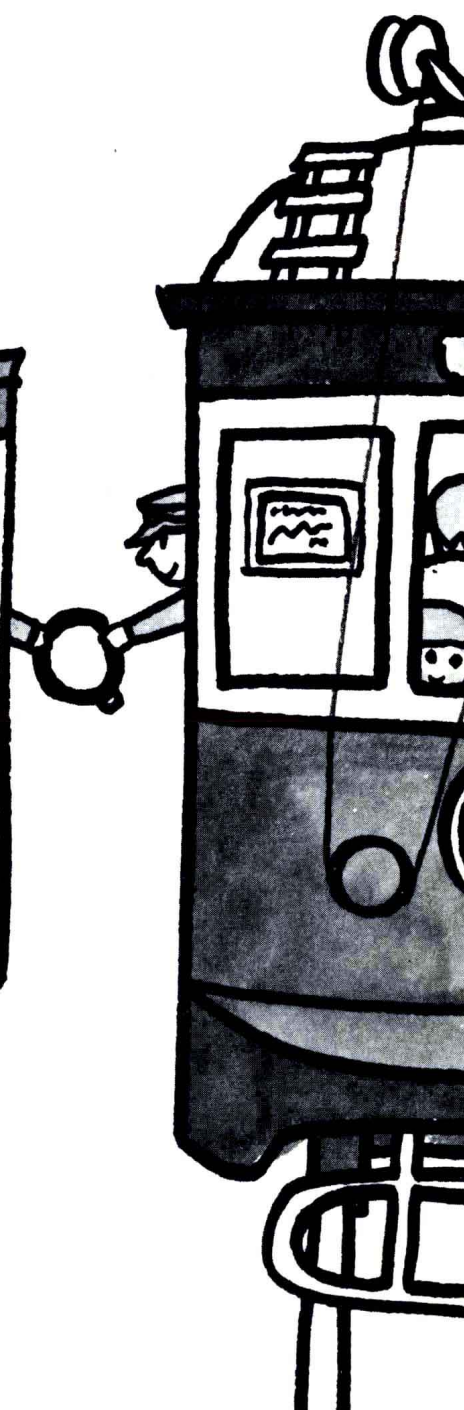
べんけいと うしわかは、

「おはよう、きょうも げんきで

はしろうぜ！」

と、あいさつして すれちがいながら、
まるいわを わたしあいます。





あさはやく

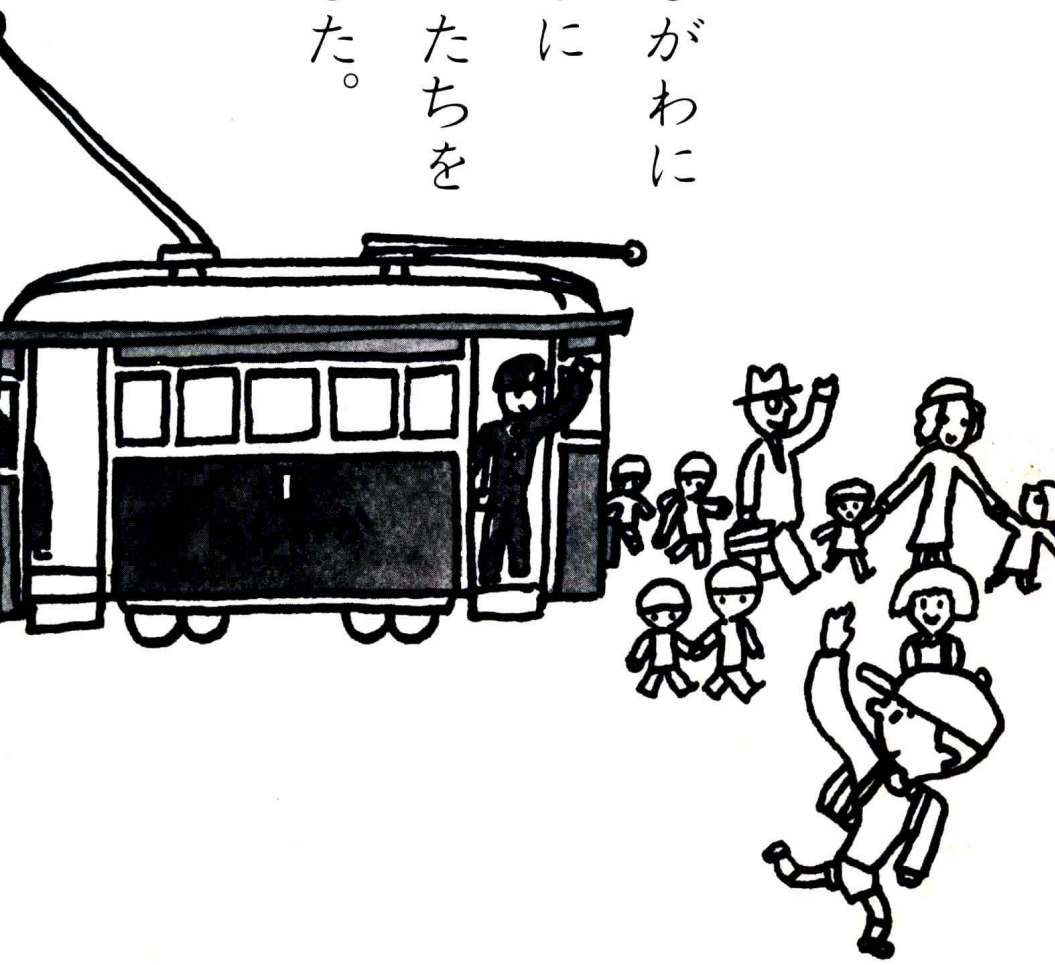
うしわかは、

まちの ひがしがわに

ある がっこうに

かよう せいとたちを

のせていきました。



べんけいは、
まちの にしがわに
ある こうじょうに
かよう ひとたちを
はこびました。



でも もちろん、べんけいとうしわか
が、なんかいも おうふくしてゐるまに、
べんけいに せいとたちが のつて、
うしわか とうじょうの ひとたちが
のることも ありました。

そして、サイレンが なつて、
とうじょうが はじまり、かねが なつて、
がつこうが はじまると、きゆうに、

でんしゃの おきやくが へって、
べんけいと うしわか は、ほつと
するのでした。

